

原市場聖書教会

NO. 792

週 報

年間聖句

**だからこそ、あなたがたはあらゆる熱意を傾けて、
信仰には徳を、徳には知識を、
知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、
敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。**

第二ペテロ 1章 5～7節



2020. 6. 7

主日礼拝

2020年 6月 7日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 受付：若村めぐみ姉
 聖餐式司式：若村和仁師 パワーポイント：本多悟兄 感謝の祈り：関久美子姉

賛	美	「土の器」	—	同
祈	り		司 会	者
今月の賛美		「天国にあるもの」	—	同
使徒信条			—	同
主の祈り			—	同
賛	美	聖歌392番「神はひとり子を」	—	同
献	金		—	同
感謝の祈り			司 会	者
賛	美	聖歌410番「こころのかどを」	—	同
聖書朗読		ローマ9章14節～24節	司 会	者
説	教	「土の器を大いに用いる主」	若村和仁師	
黙	禱		—	同
賛	美	聖歌588番「主とともにあゆむ」	—	同
聖餐式			若村和仁師	
賛	美	福音讃美歌259番「ともにパンを分け合おう」	—	同
頌	栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	—	同
祝	禱		若村和仁師	
後	奏		奏 楽 者	
報	告		司 会 者	

●礼拝後の昼食会は
 コロナ終息までお休みとします。



「土の器を大いに用いる主」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

□一マ9章14節～24節

14, それでは、どのように言うべきでしょうか。神に不正があるのでしょうか。決してそんなことはありません。

15, 神はモーセに言われました。「わたしはあわれもうと思う者をあわれみ、いつくしもうと思う者をいつくしむ。」

16, ですから、これは人の願いや努力によるのではなく、あわれんでくださる神によるのです。

17, 聖書はファラオにこう言っています。「このことのために、わたしはあなたを立てておいた。わたしの力をあなたに示すため、そして、わたしの名を全地に知らしめるためである。」

18, ですから、神は人を見こころのままにあわれみ、またみこころのままに頑なにされるのです。

19, すると、あなたは私にこう言うでしょう。「それではなぜ、神はなおも人を責められるのですか。だれが神の意図に逆らえるのですか。」

20, 人よ。神に言い返すあなたは、いったい何者ですか。造られた者が造った者に「どうして私をこのように造ったのか」と言えるでしょうか。

21, 陶器師は同じ土のかたまりから、あるものは尊いことに用いる器に、別のものは普通の器に作る権利を持っていないのでしょうか。

22, それでいて、もし神が、御怒りを示してご自分の力を知らせようと望んでおられたのに、滅ぼされるはずの怒りの器を、豊かな寛容をもって耐え忍ばれたとすれば、どうですか。

23, しかもそれが、栄光のためにあらかじめ備えられたあわれみの器に対して、ご自分の豊かな栄光を知らせるためであったとすれば、どうですか。

24, このあわれみの器として、神は私たちを、ユダヤ人の中からだけでなく、異邦人の中からも召してくださったのです。

今月の賛美 天国にあるもの

作詞・作曲 一箭 水絵

F C Dm7

せい なる せい なる せい なる お

5 F/A Bb9 F/A

か た が り よ う て を ひ ろ げ わ

8 Gm7 C F C

た し を つ つ む そ の り よ う て に は ふ か

12 Dm7 F/A Bb9

い き ず あ と わ た し の た め の

15 F/A Gm7 C F

あ い の し る し そ こ に 未

19 C Dm7 Am7

来 が あ っ て そ こ に 賛 美 が あ っ て

22 Bb9 F/A Gm7

こ こ に ひ か り が あ る ず っ と ひ

25 C F C Dm7

か り が あ る け し て 消 え は し ない え い

29 Am7 Bb9 F/A Gm7

え ん の い の ち WOO よ ろ こ び に 満

33 C F

ち た せ か い

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。
アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいたしたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり
アーメン

メッセージ要約

★先週の内容からまず振り返ります。

●「神が私たちの味方」

- 1、御霊が言葉にならないうめきをもってとりなし祈って下さっている。
- 2、神のご計画にゆだねた者はすべて益となる。
- 3、キリストの十字架の愛によってどんな苦しみにも勝利することができる
このようなポイントで学びました。では続く今日の御言葉から4つのポイントで学びます。

1、神様の選びは私たちの想像を超えている。

本日読んでいないローマ9章の前半の1節～5節では、救い主であるキリストも神の民であるユダヤ人の血筋から出てきているとあります。確かに旧約聖書時代のイスラエルの民は神様に選ばれた神の民ユダヤ人の血筋です。また、イエス様もその民族（ユダヤ人）の中から出てきました。パウロもちろんそうです。しかし、この新約の時代の律法主義に立つユダヤ人たちは、他の民族を迫害し、受け入れることができずにいたのです。もちろん、異邦人たちが偶像礼拝と、快楽主義などに走り、自分勝手な神々を作り、倫理的にも墮落していたというのも確かです。パウロも元々は、異邦人を迫害していました。また、罪深い異邦人にも救いの手を差し伸べるイエスキリストとその弟子たちのことも大いに迫害したのです。

しかし、パウロは、自分自身にも弱さがあることを知り、イエスキリストと出会い赦されて回心して以降は、命がけで神の愛を延べ伝える人へと変わったのです。その回心後のパウロを受け入れられないユダヤ人たちが沢山いました。イエスキリストの救いの恵みを恵みとして受け入れることができないユダヤ人たちが多かったのです。そこで、6節以降でパウロは旧約聖書のお話を引き出し、ただ血筋だけが繋がっていれば、信仰の父「アブラハム」の子孫だということではない。と語っています。旧約聖書を読んでいきますと、神様は、人間の想像を超えて、用いる人を選んでおられるのです。決して単純に血筋だからとかでもなく、能力がある人だからではないのです。神様がこの人を用いると決められたらば、どんな土の器からでも用いられるということなのです。しかし、この当時のユダヤ人たちは、自分たちの血筋にだけこだわっていたのです。パウロは「ヤコブとエサウ」の話から長男であるエサウが選ばれたのではなく、弟のヤコブが後継ぎとして選ばれた話をも引き出し、神様が選ばれた器が用いられることを語ったのです。

2、神様に不正があるのか？

神様が選ばれた器が用いられるということであれば、神様は自分のお気に入りを用いる自分勝手にわがままの人なのではないでしょうか？または、不正があるのでしょうか？決してそうではないのです。神様はこの宇宙すべてを作られた霊的なお方、創造主です。私たちの理解を超えた計画があるのです。その計画とは、私たちの能力や、努力できたかどうかだけで、人をあわれみかける対象か？対象でないか？を決められる方ではないのです。神様は神様の御心のままに憐れみをかけられたり、かたくなにされたりされるのです。そこには、神様のご計画があるのです。

★私たちは命与えられ生かされている存在です。その存在が、神に向かい言い返すとはいったい何者か？とパウロは語ります。作り主にはご計画があるのです。決して見捨てられてはいないのです。神様には不正はないのです。

3、土の器には神様のご計画がある。

神の作品である土の器は一人一人形も違います。役目も違います。中には、神から離れ、自己中心に歩み、滅ぼされるべき器になっているような器もあります。しかし、神様はその滅ぼされるべき怒りの器を、豊かな寛容をもって耐え忍ばれているのです。

どんな土の器であっても、決して神様は見捨てられないのです。忍耐をもって待つておられるのです。それは何を待つておられるのか？はずは、素直に自分で生きていくと高慢になるのではなく、自分こそ神の民だと威張るのでもなく、神様の前でへりくだり悔い改めることなのです。自分の欲望を第一にして生きるのではなく、神様の御心を求め神様を第一としてあゆむことが大切なのです。

4、神様は人種や民族の違いを超え、イエスキリストの十字架の愛によってすべての人を救いの道へ招いておられる。

神様は忍耐して滅びの道へ進む器を、豊かな寛容をもって耐え忍び正しい道へ帰り、神様の愛に背を向けず素直に受けてほしいと待ち望んでおられるのです。決して、圧力をかけ強制的に導こうとはされないのです。忍耐をもって待つておられるのです。

●まとめ「あわれみの器としてユダヤ人だけではなくすべての人がイエスキリストによって招かれている」

1、神様の選びは私たちの想像を超えている。

2、土の器を用いる主

3、神様は忍耐をもってすべての人の悔い改めを待つておられる。

この聖書の時代のユダヤ人たちは、自分たち心の内側には罪があることを素直に認めることができず、異邦人の救いについて受け入れることができずにいました。私たちも、この当時神の恵みを悔い改め素直に受け取らないユダヤ人のようになるのではなく、神の御心を第一としてあゆむ者でありたいです。そうするならば、土の器でしかない私たちですが大いに神様に用いていただけるのです。

報 告

☆聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。

☆体調不良の方は、礼拝出席を無理せず zoom にて礼拝を中継いたしますのでご利用ください。また、礼拝堂に入られる時には、手の消毒をよろしくお願いいたします。

★6月以降の予定

礼拝は賛美の番数を減らすスタイルで2週目まで行う予定です。

昼食は6月中お休みいたします。zoomでの礼拝中継はしばらく継続する予定です。

★礼拝以外の集会予定

- ・祈り会は6月より再開いたしました。
- ・赤毛のアンに関しては9月から再開予定です。
- ・こひつじタイムは第二週目以降の再開を目標にいたします。自粛解除後、感染第二波の様子を見て再開日を検討いたします。

☆礼拝中の席は、お隣と空間を空け、ゆとりをもってお座りください。

6月の誕生日

原市場聖書教会の教会員の方々にはおられませんでした。

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

- ・6月8日～12日（月～金） NPO 法人あまやどり奉仕 （場所：高麗聖書教会）
- ・6月11日（木） hi-b.a. 所沢オンライン集会 （場所：オンラインにて）
- ・6月12日（金） hi-b.a. 川越オンライン集会 （場所：オンラインにて）

本日午後の予定

☆礼拝後の昼食会はコロナ問題が落ち着くまでお休みいたします。

次週（6月14日〈日〉）

司 会：本多崇兄

聖 書：□-マ10章1節～13節

説 教：「心に信じ、□で告白する大切さ」若村和仁師

奏 楽：本多こずえ姉

讃 美：「聞こえてくる」 今月の賛美「天国にあるもの」

聖歌229、聖歌253、聖歌232、聖歌383

受 付：渡辺恵姉 献金感謝祈祷：渡辺愛秀兄

先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
5月31日(日)	教会学校ハレルヤキッズ	3人			3人
	礼 拝	3人	7人	13人	23人
		(礼拝はオンライン参加者8名を含む)			
	夕 礼 拝		お休みでした。		
6月3日(水)	祈 り 会		1人	3人	4人

集会案内

6月10日(水)	祈 り 会	10:30～12:00
6月14日(日)	ハレルヤキッズ	9:30～10:15
	礼 拝	10:30～12:00

頌 栄

聖歌383

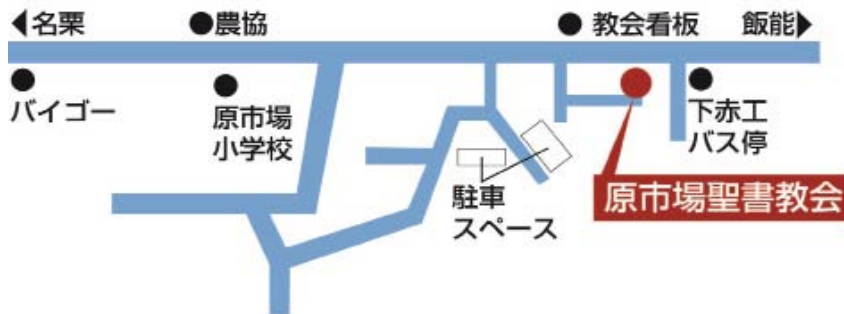
「ちち・みこ・みたまの」

To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ やややく ♩ = 104

ちち・みこ・みたまのおおみかみにーとこしえか
わらずみさかえあれーみさかえあれーアメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッズ	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッズスペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-981-7200

牧師:若村和仁